

NEURO2024 報告書

大会長 山梨大学医学部 薬理学講座 小泉 修一

この度、山梨医学会より学会助成金をいただきまして、2024年7月24日（水）～27日（土）の4日間に渡り、福岡国際センターにてNEURO2024を開催いたしました。本大会は、日本神経科学学会（JNS）、日本神経化学会（JSN）、日本生物学的精神医学会（JSBP）の3学会の合同大会として開催され、JNSは岡部繁男先生（東京大学）、JSBPは山末英典先生（浜松医科大学）、JSNは小泉が、それぞれ大会長を務めました。今回の神経系3学会の組み合わせによる合同大会は初めてであったため、いつもより規模が大きく、また企画等で多くの調整や議論が必要となる手間のかかった大会ではありました。しかし、おかげさまで非常に多くの方が参加してくださり、参加総数は約3,600名に達しました。真夏の暑い福岡で、4日間にわたり、最高に熱い発表と議論が行われました。

大会の内容も、本当に様々な企画を実現することが出来ました。具体的にはプレナリーレクチャーとしてGina G. Turrigiano先生（米国）、Bong-Kium Kaang先生（韓国）、Simon Baron-Cohen先生（英国）およびBaljit S. Khakh先生（米国）と、いずれも本分野で現在世界最高峰の先生をお呼びすることができました。また特別講演4題、教育講演15題、各種受賞講演8題、シンポジウム64件、さらに一般講演、若手育成道場、ポスター発表等、盛りだくさんの企画となりました。また単に規模が大きかつただけでなく、国、年齢、



NEURO2024 ポスター

性別、分野等、様々な意味に於いて、大きな多様性を感じる大会となりました。様々な新しい刺激をもらい、楽しく、充実した大会になったと思います。このような大会が成功裏に開催できましたのも、山梨医学会からサポートをいただけたおかげと思っております。ここに改めて感謝の意を表すると共に、今後とも、本学の各種大会の開催者をサポートしていただければと思います。本当にありがとうございました。



大会長 3 名の写真